

んが、をいをい發育して、いま、でのことかうそ
である悟つたわかつきにはもうなにをいふたか
らとてさくものでないことはめにみえてるお話で
とうとう子供も見様みまねで虚言はわるいこと、
知りつゝも吐く様になる、之は丁度親達が虚言の
お手本を示す様なものですからよくよく注意して
命令禁止を執行せねばなりません(未完)

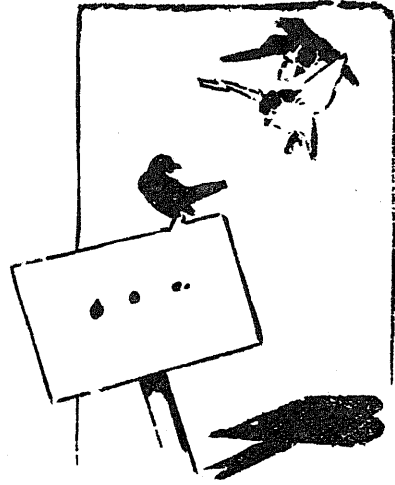
世界最高齡婦人の死去

去る八月六日亞米利加ミッドピルの郊外ケルダウンにて
死去せるマーフィー夫人といへるは、其年實に百三十四
歳なりし由なるが同人は千七百七十年クリスマス當日ア
イルランドに生れ、一百歳の時に渡米せしものなりしと
云ふ。



大阪みやげ (ついで)

東 牧 羊



島●の市街 ● 曰く中の島、曰く堂島、曰く松島、
曰く江の子島、大阪には實に島といふものが多い
否な大阪全市は全く島から出来て居るといつて宜
い、淀川を中心として、縦横十文字に通じた溝渠
は、橋から橋を渡つて往來すべく出来て居て、從

つて橋の立派なものも東京に比して遙に多いのである。

●●●●●
市の發達 もとゞ商業地として日本一の都會たる大阪は、近來更に工業地として日本一の都會となつた。そして市の膨脹力の速なことは驚くべきで、彼の西區の新街と稱する遊廓は、徳川の時代には西の一番の端れであつたのが、今は市の量中央となつて居る、夫から同區の松島といふ遊廓も全しく明治の初年に出來た時は、西の端れの片田舎であつたのが、今では矢張、一等繁華の中央の地となつたのでも分る、そして、今日では彼の築港が、西の海岸に出來つゝあるので、二三年以來、此附近に新しい市街の新しい出來た事は、夥しいものだ、つまり、市の膨脹は西へくと進んで居るが、此勢で進んで行くと、今に十年

も經つた曉には、海上に幾多の新市街が出來るに違ない、而してこれは強ち空想でないことは確かだ、人口も今では凡そ百万に近いが、これも十年前から見ると、殆んど二倍の増加だといつてよいしかし、大阪の

●●●●●
市街の狭い事 は有名な話で、人力車は三臺とは并べない、勿論馬車などの通行はともゞ、従つて大阪中で、馬車といふものは、たつた一臺政府(府廳のこと)にあるつきりだと聞ては、聊かなない心地がする、尤も、今に、各停車場を連絡する電車が出來るといふこと、何にしても市區改正が當市目下の急務らしい。しかし、此道路の狭隘はやがては、彼の縦横に貫通せる溝渠に由つて其缺を補つて居るので、つまり大阪の繁昌の原因は陸よりも水の上にあるのだらう。従つて、築港

是か、淀川の改修（幅八町）といふ様な非常の大事に、當市が全力を注いでゐるのも無理はない。大阪府女子師範學校之は南の端れ、桃山に在つて、卅三年四月に開校したもので、現校長は大村芳樹君、温厚篤實、良校長として名聲噴々たり現在生徒は本科に百二十人、乙種講習科に四十人合して百六十人ある、生徒の訓練につきては校長舎監はいろ／＼骨折つて居られる様であるが、こゝに一つ注意すべきことは、何處の女學校でも外出の時には必ず、外出簿といふものを持たせて行つた先きで、何時着何時發といふ印を押して貰つて、歸校の上、之を舎監に見せることになつて居る。之につきては、教育者間に於て、いろ／＼非難のあることを聞いた。夫はこういふものは、何の益にもならぬもので、反つて生徒を疑つてゐ

といふ感じを生徒に持たせるものだから、いつて居る、然し、どういふものか、どこの女學校に於てもやつて居るが、此學校に於ては、斷然、夫は用ゐないで、外出の時はたゞ、自分で備付の外出簿に、行先、方向、出舎の時刻を記入して、歸つてまた歸舎の時刻を記入するだけにして居る。寄宿舎は随分裕かである、中々清潔でよく行き届いて居る、が、女生徒の寄宿舎としては、今少し室内の裝飾に心を用ゐさせてはどうであらうか、男子の寄宿舎でも、漸く其無味乾燥なのを認めただ今日、女子に於ては尙更其必要があるではあるまいかと思はれた。一體に我國の寄宿舎生活をする者は、とかく、こう云ふ方面に心を用ゐる餘裕がなさ過ぎはしまいか、而して、そういふ方面に心を用ゐさせて行くよふに躡ける事は、いろ／＼の

點から考へて、必要であるまいかと思はれたのである。

音樂會 大阪の人といへば、單に實利以外に興味を有たないといふ考は、少くとも近來に於ては間違つて居る。音樂などの趣味嗜好は、近頃になつて餘程發達したといふことで、既に本年に入つて三四回の音樂會が、彼の中の島の公會堂で開催された。一度は、清水谷の高等女學校生徒の催しで何しろ三千人は悠に這入る程の公會堂は、當時殆んど立錫の地なきまでの大盛會であつて、切符の賣上高は純利千圓といふでは、堂々たる東京の音樂學校の催しも瞠若の感があらう。も一つは、當女子師範學校の催で、之は見た所、夫程の盛會とは行かなかつて、從つて純利益も數百圓だつたとの事だか、然も、音樂會としての成効は、遙に前

者に勝つたといふこと、夫から近縣の師範、高等女學校の音樂教員たる所謂専門家のもあつたが、之は比較的成効しなかつたといふことである。

愛珠幼稚園 これが、確に又市の一名物である全國に於て、一幼稚園に八万七千圓からの金を支出した所は他には決つてない。然も、夫が、僅々二十ヶ町餘の組合から支出せられたのである。従つて、建物として、頗る完全で立派なもので、又職員の意味も、他から比べると餘程進歩して居る様で、尙、この園長の鹽野吉兵衛君といつたら一体此町の名望ある商人であるに係らず、教育、殊に幼兒保育に付きては非常な熱心なものだ。もとい、此幼稚園は明治十三年に開設せられたので夫に付き面白い歴史もあるが、夫は茲に略して置く、兎に角、これ程の幼稚園は全國に殆んど見る

事が出来なからう。そして、保育料は一名に付き二十錢、幼児は目下百八十もあらうか、目下は主席保婦が缺員であるが、若し適當な保婦があらば五十圓までは出すといつて居る。併も、今に之に應ずる篤志家もなくつて其人を得ないといふに至つては、吾はたい、保育界のために長歎せざるを得ないのである。一體、大阪といふ所は、教育、殊に

幼児保育につきては頗る熱心で、此點につきては、東京の冷淡なるとは丸で正反對である。事の序に、左に

市内幼稚園擴張方法調

査委員會

の議事を左に引かう、全國幼稚園界の好個の參考にもならうかと思つて、

三十七年七月十二日正午より西區東江幼稚園に於て

一大阪市内幼稚園擴張方法調査委員會を開く出席するもの左の如し

天野 松二君

小笠原松枝君

牧野 順學君

岡本 アイ君

膳 マケ君

加茂 仁八君

清水常次郎君

協議に入る

委員長を互選し清水君當撰す

小笠原君。經濟上より又保育上より觀察して、幼稚園を普通のもの、簡易幼稚園、即ち前日

の保育科様のものと二種となし、市内各町に多數設置するを得策とすべし。

牧野君。小學校負擔區に小公園一ヶ所を設け、

之に所要の幼稚園二個乃至三個を置き、保婦は

一家の主婦の如き考を以て朝も夕も時々適宜に幼児を會集して保育したし、即天然的幼稚園を造らんと欲す、但是予の理想にして即時實行せんとするに非ず、漸次其設置を望むのみ。

加茂君。予は尋常小學校生徒數の三分の二を幼稚園に收容するの標準を以て、幼稚園を設備せんとす、自分關係の幼稚園に之を實行せんとして、却て教育實務者に妨げられたり。但現時行ひ易しと思惟するは午前午後二部保育是なり。

牧野君。予も實行の方法としては二部教授なりと信ず、西區にありては今其實行の手續き中に屬せり。

膳君。参考までに京都柳池幼稚園のことを言はん、同園は甲組の保育室に在るとき、乙組は遊戯室に在り、斯く交互室を轉換するを以て三保

育室より六組の幼児を收容し得るなり、岡本君。我園時々之を實行す。

天野君。戰後經營に於て義務教育年限の延長は必然起るべき問題なり、幼稚園擴張を言ふもの須らく顧慮すべし。

清水君。義務教育年限に二年を増すと、滿六年以前に幼稚園に二三年保育すると、其教育の効果していづれか優れるか、予は完全に保育事業を行ひ得るものとすれば、後者を以て前者に勝れりとなすなり。

加茂君。將來の理想と、目下實行し得ること、分ちて協議せん、委員長、先づ實行し得るものに付て説を述べられよ。

△堂島、清水谷、各高等女學校に育保料を設置

する様建議のと、

可決

△府立師範學校に(男子)幼兒保育に關する學科を置く様建議するのと

可決

△午前午後二部保育のと

可決

△保育室轉換のと

可決

△市保育會に於て左の二事業を營むと

甲 保育科の高き幼稚園を設置する事

乙 貧民幼稚園即ち幼兒附託所を設置するのと、

(但總會に附議し可決の上は更に其方法を

調査すると)

△小學校令施行細則中幼稚園幼兒の定員百名

(除外は百五十名)とある制限を廢する様文部

大臣へ建議のと

可決

△兼務園長に月手當を支給する様當局者へ建議

のと

可決

△學校幼稚園の連絡に付提携して其方法を調査

する様大阪市教育會へ交渉すること

可決

委員長、更に希望として本會の意思を公表する

件に付て協議を望む

△小公園を各負擔區に造り其所に幼稚園を設置

すること

可決

△一小學校負擔區に一幼稚園を設くるの習慣を

打破し、其兒童の多少を量り相應の幼稚園を増設すると。

可決

△幼稚園を學校より分離獨立せしむると、

可決

右各項委員長より會長へ報告し夫是其手續きを了する様求むる事。

大阪市に又、

保育會

がある、京都、及神戸と聯合して時々聯合保育會を開き機關雜誌を年二回出す。當市保育會長は、大村芳樹君で、頗る會のために盡力せられ、會員も亦熱心で、中々活氣があり、市の有力なる教育機關である、本年五月、此會に於て、文部省及高等教育會議に向つて左の建議書を差出した。

建議會

大阪市保育會長大村芳樹謹みて文部大臣閣下に呈す我邦文運日に隆昌を極め幼稚園の如きも各府縣概ね其設立を見ざることもなく既に全國に於て園數二百五十有三保母數六百六十有五名を數ふるに至れり而して其成績に就きては時に多少の疑を抱くものありと雖も是主として保母其人を得るに難さによる抑も現今保母の待遇は小學校教員の如くならず隨ひて良好の人を得ざるのみならず會を此職にあるものも去りて小學校教員たらんと欲するに至る是實に止むを得ざることなり夫れ幼稚園を苟も教育系統の内に加へんには保母の待遇と資格とを高からしむるは最も必要とする所なりとす仄に聞く文部省内學制に關する調査會を設けられ根本より我が邦の學制

を改革せられんとす。因て本會は茲に本會の決議に基き別項を具し及建議候也頓首再拜

五月十二日

大阪市保育會長

大村 芳 樹 團

文部大臣久保田讓殿

(高等教育會議議長宛も亦之に全じ)

建議事項

一、幼稚園職員の待遇方を小學校教員と同一にせられたること

一、明治三十三年法律第六十三號市村立小學校教員國庫補助法中に市町村立幼稚園保母を加へられたること

一、明治二十三年法律第九十號小學校教員退隱料及遺族扶助料法を公立幼稚園保母に適用せられたること

一、幼稚園保母の資格に關し小學校令施行規則第二百四條を左の通り改正せられたること

幼稚園に於て幼児を保育する者を保母とす

保母は女子にして尋常小學校本科正教員の資格を有し保育上の經歷あるもの又は府縣知事の免許を得たるものたるべし

保母の職務を助くるものを助手とす

助手は尋常小學校本科准教員の資格を有するもの又は府縣知事の免許を得たるものたるべし

一、小學校令施行規則第二百五條を左の通り改められたること

保母の下に「助手」の二字を加ふること
以上

こういふ風で、一體、幼稚園事業は、關西の方が

餘程盛で、別して大阪が中心といふ風がある。どうか、東京の方も、今少し熱心になつて欲しいと思ふ。

尙、筆の序に、當市の

慈惠院 のことを紹介しよう。これは佛教主義の育兒院で、つまり、寄附金から出来て居る。場所は東區神崎町にあるのであるが、自分は多忙の爲めに親しく實地を參觀することの出来なかつたのは遺憾である。で、本院の目的は

世上の貧困無告の兒女を收容し、其兩親に代りて、養育は勿論普通教育と手藝とを授け、獨立自營の良民たらしめ、希くは以て世の厄界物たらざらしめむことを期するにありと

其創立は、明治二十六年にありて、其以來收養の貧兒は合計百四十四人だとのこと、そして其院生

の日課は次の如くである。

第一 院生は左の日課に従はしむ、但順番交替等は教師に於て之を定む

一 毎日定時間手工若くば裁縫せしむ

二 屋内屋外の洒掃及炊事、洗濯等の雜用を爲せしむ

第二 就學生歸院したる時は復習せしむ

第三 晝間就學する院生復習したる後は凡そ三十分間休憩し手工若くは裁縫を爲さしむ

第四 幼稚生は午前二時乃至三時午後一時乃至二時幼稚園的方法に依り保育す

第五 土曜日は午後容儀を習はしむ但手工に従事し居るものは便宜夜間に於てするも妨げなし

第六 十歳未満の院生は日曜日は隨意安養せしむ

五十九

これらの院兒、殊には貧家不良の子供のことゝて、其保育教養上の苦心の一通りや二通りでないことも、大抵想像せられる、因に、此夏、堺市で、全國の孤兒院の教師のために講習會が開かれるといふことを聞いた。

餘り長くなるから 大阪みやげは一先之で擱筆する。

(完)

二葉幼稚園

野口幽香子齋藤峯子兩氏の經營せられ居る同園は兩氏及同園保母の熱心なる盡力の結果、追々好況に向ひつゝありとのこと、左に抜抄する同園報告に由りて、從來の状況の概略を紹介すべし

現在の状況

建物 家は相變らず去年の儘で狭くて、都合が悪

くてとても、永くは續かぬと申ながら二年以上も辛抱致しました、私共の希望を申上げた結果種々御盡力下さつた方がありまして、今春以來非常に有望のお話が二度もありましたが、何れも望は達せず終りました、併しこれからは益々熱心にさがしまして、いつかは喜ばしい新築の出来る日を待つて居ります、いつも願ふ事で御坐いますか適當の地所がありましたらどうか御周旋を願います

現在幼児數及父母職業

幼兒數 五十名(男兒 二十八名 女兒 二十二名)

父親の職業

車夫	二十九人	疊職	一人
消防夫	三人	馬丁	一人
指物職	三人	魚賣	一人
小使	一人	菓物屋	一人
左官	一人	電氣工	一人
土方	一人	料理人	一人